

文教厚生委員会会議録（要点筆記）

平成24年6月5日（火）

午後1時30分 開 会

○小出義一委員長

ただいまより、文教厚生委員会を開催いたします。

協議題に入る前に、委員長連絡会議の報告を行います。

去る5月22日に開催されました 委員長連絡会議において説明を受けた事項2点について、ご報告申し上げます。1点目は「常任委員会の費用弁償について」昨年度までと同様の1人当たり、10万円以内で実施します。その他、議会運営委員会及び特別委員会は、1人当たり、5万円以内、となっております。

2点目として「市民との接点の拡大及びおでかけについて」、市民に開かれた議会を目指さするため、議長から、市議会と市民、諸団体との接点の拡大、拡充について、また市役所以外での委員会の開催を行う、出前委員会の積極的な実施について依頼がありました。実施の際は、委員の皆さまのご協力をお願いいたします。

以上が委員長連絡会議の報告ですが、ご質疑ありませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、これで委員長連絡会議の報告を終わります。

協議題1「所管事項の報告について」を議題とします。

本日は、当局から各委員に資料が配布されておりますので、資料に基づき補足説明をお願いしますが、当局におかれましては、本年度の特徴的な事業について簡潔な説明をお願いしたいと思います。

それでは、福祉部から所管事項の説明をお願いします。

○笠井福祉部長

【福祉部資料に基づき概要説明】

○杉浦地域福祉課長

【福祉部資料、3～53頁に基づき説明】

○寺澤地域福祉課長主幹

【福祉部資料、54～58頁に基づき説明】

○篠崎生活援護課長

【福祉部資料、59～64頁に基づき説明】

○山本保健センター事務長

【福祉部、65～84頁に基づき説明】

○藤田介護保険課長

【福祉部資料、85～94頁に基づき説明】

○竹内保険年金課長

【福祉部資料、95～122頁に基づき説明】

○小出義一委員長

以上で福祉部の説明は終わりました。ご質疑ありませんか。

【「なし」の声あり】

ないようですので、これで福祉部の所管事項の報告は終わります。

しばらく休憩いたします。

午後1時58分 休 憩

午後2時05分 再 開

○小出義一委員長

委員会を再開いたします。

次に子育て支援部から所管事項の説明をお願いいたします。

○大坪子育て支援部長

【子育て支援部資料に基づき概要説明】

○江原子育て支援課長

【子育て支援部資料、1～34頁に基づき説明】

○小出義一委員長

以上で子育て支援部の説明は終わりました。ご質疑ありませんか。

○山本博信委員

子ども園のことですが、43ページでは、保護者の就労の有無に関係無く受け入れると書いてあります、保育園では保育に欠ける子を受け入れるわけですが、整合性があるのでしょうか。

○林幼児保育課長

認定こども園制度は平成18年の頃に国の新たな制度として発足しております。従来は保育に欠ける子どもが保育園、家庭で保育が出来るが3歳以上の集団教育が必要な子どもは幼稚園という住み分けがありました。背景として、幼稚園の園児数は減少傾向にある。保育園では待機児童が出ているということで、幼保一体化という話はかなり以前から出ておりそういった流れから認定こども園という制度が出来ました。親が出産などで育休を取りますと保育に欠けなくなるので、保育園の入園条件に当てはまらなくなるため、幼稚園へということもありました。幼稚園へ入っている子どもが急に母親が働くとなると幼稚園の時間帯だけでは困難ということで保育園へ動くといったような制度的な仕組みになっている中で、すべての子どもに修学前の教育、保育を受けることを保障するには、幼保一体型の施設が望ましいということで認定こども園という制度に繋がっていると私なりにはそう考えております。

○山本博信委員

幼稚園、保育園、こども園の設立の主旨、法的なことについては矛盾が無いということでしょうか。

○林幼児保育課長

就労の有無にかかわらず、子どもを受け入れることについて、当初から保育時間が違うことについて、子どもがとまどうという事は想定はされていましたが、そういった事は園の中の工夫でとまどいの無いように努めておりますし、認定こども園という枠組みの中で、矛盾なく運営が出来ていると私は思っています。

○山本博信委員

新しい認定こども園という制度が出来たからには、もっと進めていく必要があると思いますが、市はどのように考えていますか。

○大坪子育て支援部長

岩滑こども園開設してから検証もしておりまして、全員協議会で報告させていただいてお

りますが、概ね評判が良いということで、成功したという認識をしておりますし、国のほうが子ども子育て新システムという制度を作りまして、現在、国会で審議中という段階ですが3つの法律案が提出されております。その中に幼保一体化ということも入っております。国も幼稚園、保育園を一体化したこども園制度をこれからも推進していく立場でおりますので、国の動向も見極めながらこの制度については推進していく考えでおります。

○山本博信委員

推進していくということになりますと、年次計画等を作ってどう推進していくかも大事だと思いますが、どのように考えていますか。

○大坪子育て支援部長

幼保一体化検討会議のほうで、国のすすめ具合と並行して協議を継続してやっております。今は半田市内の幼稚園、保育園の適正配置数といった所の検討をしておりますが、その中で早急にやらなければいけないという地域として2つの地域、板山と亀崎の地域を今年度重点的にやっていきますが、それと並行して市内全体の幼稚園、保育園がどうあるべきかといった検討も並行してやっていこうという状況にありますので、今後一体化について具体的に動いておりますので、その方向で検討が進んでいくものと思っております。

○山本博信委員

放課後児童健全育成事業ですが、閉会中の調査事項で以前、官設民営を充実してくださいという結論がありましたが今はどういう状況ですか。

○江原子育て支援課長

文教厚生委員会の閉会中の提言をいただきまして、今回花園につきましては、公設民営化、それも花園小学校の敷地内の中に建てさせていただきます。今後については当然父母会を中心として、施設環境に少し問題があるというところも見受けられますので、一方組織の法人化という動きもありますので、該当の学童さんと調整をして、出来るところから進めたいと思っております。

○山本博信委員

小学校の中に一日か二日面倒をみるという事業がありました。それと放課後児童クラブですか、この関連はどうなっているのでしょうか。

○江原子育て支援課長

私どもが所管をしております放課後児童健全育成事業につきましては、親が働いているとか病気にかかって子どもがみられないという条件のもとにカギっ子対策のような形で子どもさんを学校が終わってから、また、夏休みにお預かりをするという事業をしております。今委員がおっしゃられたのは、生涯学習課所管の放課後子ども教室というもので、週に1、2回学校の余裕教室を利用させてもらって地域の方々に一時間程度みてもらっているもので、2つとも小学校の子どもを相手にするということは一緒ですし、居場所という部分では全く同じですので、放課後子ども教室、私どもの放課後児童健全育成事業と連携して事業を行っていくということで生涯学習課の所管の委員会の中でも話を進めているところです。

○小出義一委員長

ほかにご質疑ございませんか。

【「なし」の声あり】

ないようですので、これで子育て支援部の所管事項の報告は終わります。

しばらく休憩いたします。

午後2時30分 休 憩

午後2時37分 再 開

○小出義一委員長

委員会を再開いたします。

次に、教育委員会から所管事項の説明をお願いします。

○加来教育長

委員の皆さまには日頃から暖かいご支援をいただきまして、ありがとうございます。本年度もどうぞよろしく申し上げます。平成24年度がスタートして2か月と少し過ぎましたが、ここまでのところ学校教育、生涯学習、文化スポーツの振興等、概ね順調に来ておると思っております。本年度の取組みにつきましても、従来からの継続事業に加え、新たな取組みも積極的に進めていきたいと考えております。とりわけ不登校対策などの喫緊の諸課題に対しましては、何とんでも結果を出せるように全力でスピード感をもって取り組んでまいりたいと思っております。今年も元気いっぱい笑顔いっぱい優しさいっぴいを合言葉に教育の面から地域貢献を果たすべく頑張っておりますので、委員の皆さまの格別のご指導ご支援をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

○本間教育部長

【教育委員会資料に基づき概要説明】

○竹内学校教育課長

【教育委員会黄色の資料、学校教育課（1～43頁）に基づき説明】

○新保学校給食センター所長

【教育委員会黄色の資料、学校給食センター（44～51頁）に基づき説明】

○スポーツ課長

【丹羽教育委員会青色の資料、スポーツ課（1～49頁）に基づき説明】

○加藤生涯学習課長

【教育委員会青色の資料、生涯学習課（50～76頁）に基づき説明】

○新美図書館長

【教育委員会青色の資料、図書館（77～104頁）に基づき説明】

○船橋博物館長

【教育委員会青色の資料、博物館（105～114頁）に基づき説明】

○古田新美南吉記念館事務長

【教育委員会青色の資料、新美南吉記念館（115～123頁）に基づき説明】

○榊原主任指導主事

【「幼保小中一貫教育HANDAプラン」について資料に基づき説明】

○小出義一委員長

以上で教育委員会の説明は終わりました。ご質疑ありませんか。

○山本博信委員

半田市のキャリア教育を推進するうえで、抵抗する勢力、抵抗する事態、どういうことが想定されますか。また、それをどうやって克服していく考えでしょうか。

○榊原主任指導主事

特に今、抵抗する勢力や状況は考えておりません。スムーズに進むものと思っております。

○山本博信委員

日本国憲法には国民の3つの義務ということで納税の義務、勤労の義務、それから教育を受けさせる義務という3つの義務がありますが、一部の子どもに対して教育を受けさせる義務を果たしていない親、社会といいますか、そういうことがありますか、これはどのようにしていったら良いと思ってみえますか。

○加来教育長

大多数の親御さんは、わが子の子育てについては責任をもってあたっていただいておりますが、中には子どもの子育てよりも自分の生活を最優先してしまう親とか、或いは自由と権利を履き違えていたり、最近、子育てに関するさまざまな情報が反乱しておりまして、何を信じて良いかわからない。世の中の仕組みをみますと各家族化になったりしております、それから地域のコミュニティ、地域共同体の希薄化。そういう中で子育ての知恵を受け継ぐとか困った時に相談出来るとかそういうことが減ってきておりますので、その辺りでの親への支援。これはしっかりと考えていかなければならないと。一番すぐに動かなければならないのは、やっぱりPTAの組織をいかに活用するか、そして学校運営協議会、学校評議員会こういった所で子どもに目を向けるような仕組みを学校が核になって進めていくというようなことに取り組んでいきたいと思っております。

○山本博信委員

親の責任を果たしていない保護者がみえるということ認識していらっしゃるということでもわかりました。そのためにPTAの活動をしっかりやるということですが、強権的な形でやるべきことをやっていかなければならないと思いがします。事無かれ主義で隠ぺい体質のこともあったとおもいますが、そういうことではなくて、しっかりすべき所はしっかりとするという態度が必要だと思いますが、しっかりやっていってもらえると期待してよろしいでしょうか。

○本間教育部長

現在も学校現場においては、委員の言われたような態度で日々教育行政を進めておりますし、今後も進めていきたいと思っております。ただ、そこには限界もあります。教育長が申し上げたような地域だとかPTAもいろんな協力やご支援をいただいて、学校を盛り上げていただくということのひとつの中で、学校運営協議会を立ち上げてモデルとして3校やっておりますので、そういった所からもヒントが出てくるのかなという思いがしております。

○山本博信委員

不登校などそういうことに本人がなりたくなくてもなってしまったという個別の事例もありますが、やはり社会の責任をしっかりと果たしていただくような教育現場であって欲しいという思いもいたしますので、ぜひその点もお願いいたします。

空の科学館が第2火曜日だけお休みということを知りましたが、例えば、図書館や博物館、南吉記念館。休館日を減らしてもっと市民サービスの提供をしてくださいとお願いしていますが、なかなか改まらないです。何故減らすことが出来ないのでしょうか。

○新美図書館長

以前、委員会等でそういうご指摘をいただいていることは十分認識はしております。図書館につきましては、年間を通じて来館者が非常に多い。そこそこ半田市の公共施設のなかで

一番使われている施設かなという自負もございます。そういう面の中で、人員の適正配置のことですとか、開館すれば一定の維持管理コストもかかってこようかと思えます。先ほど山本委員からご指摘いただいた空の科学館等につきましては、指定管理者制度を活用して、プレゼンテーションの中から業者のほうからいろんな提案があったと聞いておりますので、直ちにとというのはなかなか難しいかと思えますが、指定管理者制度も視野に入れて今後研究してまいりたいと考えております。

○山本博信委員

一言で言うと官で出来なくて民で出来るわけです。もっとスピード感をもってやっていただけたらと思えますけれど、何故スピード感が持てないのでしょうか。

○新美図書館長

指定管理者の国の方が自治法を改正しまして、図書館もその対象の施設に入ったのですが、一旦、指定管理者制度をやるところから総務大臣の談話として図書館はなじまないですとか、国の方からもいろんな関係がございましたので、そういう点も踏まえて今後近隣の市町の導入も進んでまいりましたので、研究してみたいとおもっております。

○山本博信委員

出来たら今年中に結論を出してください。

博物館、美術館など半田市も沢山ありますが、連携はどうなっていますか。

○船橋博物館長

懇談の場があって連携しているわけではございません。個々に酢の里、酒の文化館或いは神谷美術館等といろんな懇談を開く中でお互いに共通のPRをしましょうとなどそういった形での連携をしております。

○山本博信委員

連携は既にしてしているということで理解してよろしいでしょうか。

○船橋博物館長

十分か不十分は別としまして、意見交換をしております。

○山本博信委員

今度、南吉生誕100年記念事業をしますが、養家を所有している神谷美術館さん、本来半田市が取得し管理しても良いと思えますが、民間団体でやっていただいています、100年に併せて表彰するとかそういう考えはありませんか。

○本間教育部長

今まで半田市に代わって、民間でここまで保存をしていただいて開放をしていただいたその成果について私も十分認めてあげたいと思っております。一度前向きな方向で感謝状になるのか、表彰なのかわかりませんが、生誕100年に併せた形で何か出来たら良いと思っております。

○山内悟委員

キャリア教育のことでお聞きします。子ども達だけではなくて親も含めていろいろ問題があるからこそ現状があると思っておりますが、具体的には成長段階に応じた取り組みが必要だといって、幼小中と一貫教育をするとどういうことが、具体的に何をそれぞれの段階でやるとキャリア教育になるのか。用意しているプログラムがあるなら教えていただきたい。

○榊原主任指導主事

教育委員会として先ほどお話ししました3つ以外には、特に大きなものは考えておりませんが、資料の開いた右側の12年間で3つの段階に分けておりますが、それぞれ提示しておりますので、これに従って各園、学校で取り組んでいただくことで、目指す子ども像により近づいていけるものと思っております。

○加来教育長

具体的な取り組みについては、それぞれの学校が既にさまざまに取り組んでおります。これらを単発ではなくて系統的、組織的に共通理解をもって系統的に取り組む。あいさつ運動でも幼稚園、保育園でもやっております。そういう主旨だとか取り組み方とか、或いは地域学習にしてもそうですし、幼稚園の子の係活動、動物のお世話から始まって責任をもってやると、それが中学校3年生2年生になってくると今度は集団の一員としての役割を果たそうとするような取り組みだとか、学習面でも生活面でもあるわけで、今小さい子達はこんな大人になりたいとかこんなことをしたいと言います。でも学年が進むにつれて、とりあえず高校、大学に行こうと、その後は特に考えていない。段々自分になりたい大人像や就きたい職業感というものが薄れていってしまう。こういったことをそれぞれの枠を超えて先生達が見ていく、そして家庭へも発信していく、具体的なことは一年取組みながら更にこの中に打ち込んで行きたい。成岩小学校を研究指定校に指定しました。ここからいろんな発信があります。そこには有識者の方にも入ってもらいます。各学校がそれぞれ中学校区毎に既に動いておりますが、幼稚園、保育園の先生、小学校の先生、中学校の先生が情報交換しながらやっております。先日、幼稚園へ行きました。幼稚園の先生が小学校の先生から小学校へあがったら0からの出発とか、1からの出発という話を聞いてがっかりした。幼稚園3年間でこんなにやって来たのに、小学校で0からの出発と言われたと聞きました。こういうことが現実でありますので、そこを何とか乗り越えて行きたい、精度を高めて行きたいと思っております。

○小出義一委員長

ほかにご質疑ありませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、教育委員会所管の説明はこれで終了します。しばらく休憩します。

午後3時42分 休憩

午後3時50分 再開

○小出義一委員長

委員会を再開いたします。

次に、協議題2「閉会中の調査事項について」を議題とします。

これまでの調査事項については、お手元に配布したとおりですが、本年度の調査テーマについて、各委員の皆さまからご意見をお伺いしたいと思います。

しばらく休憩します。

午後3時52分 休憩

午後4時23分 再開

○小出義一委員長

委員会を再開します。

ただいまの休憩中に皆さんからご意見をいただきましたが本日は決めきれないということで6月12日全協後に調査事項を議題として協議させていただきたいと思っております。

これにご異議ございませんか。

【「異議なし」との声あり】

ありがとうございました。それではよろしく申し上げます。  
次に、協議題3のうち市内視察の日程を決めたいと思います。  
しばらく休憩します。

午後4時24分 休 憩

午後4時25分 再 開

○小出義一委員長

委員会を開催します。

7月6日金曜日で決定したいと思いますがよろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

ありがとうございました。それでは市内視察の日程は7月6日金曜日に決定しました。詳細は決定しましたら連絡させていただきます。

以上で、本日予定いたしました議事は、すべて終了いたしました。

ほかに、何かありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、本日の委員会はこれにて閉会いたします。

午後4時30分 閉会